

公益財団法人 四万十川財団
TEL 0880-29-0200
FAX 0880-29-0201
Mail office@shimanto.or.jp
URL http://www.shimanto.or.jp



すでに芽の出ているどんぐりをポットへ。



以前、同事業を実施した場所。子ども達の遊び場に。

■地域の子供達と考える道路改良と景観

ご存知の通り、四万十川流域は平成 21 年に国の重要文化的景観に選定され、景観の維持活用に努めている。過去の状態をそのまま保存する他の文化財とは異なり、文化的景観は”生きた文化財”とも言われるように変化を許容する点に特異性がある。これまでの暮らしや生業、それらが織りなす風景の上に、時代に合った新しい選択を重ねていくことで流域住民の豊かな生活を実現し、また、それに伴って移りゆく景観にも新たな価値が見出されていく。

四万十川の中流域、四万十町米奥地区において、米奥小学校の児童と景観保全に取り組みながら進められている道路改良事業がある。これは高知県土木事務所が行っている事業で、現場は文化的景観の選定範囲に含まれている。2車線道路が緩やかなカーブの後に突如1車線に減少す

る危険箇所で、安全確保のため、山を切り取って車線を増やすこととなった。景観へ配慮し、法面に在来植種のポット苗を植えて自然林の復元を目指す。[\(木の香る道づくり事業\)](#) 地元の小学生に、ポット苗に使用する種の採取及び栽培、植樹への協力を依頼し、先日、事業の説明及び種となるどんぐりの採取を実施した。(※次頁参照)

今回の道路改良事業における地元小学生との協働は、単なる植樹体験ではなく、子どもたちに具体的に景観と向き合うための機会を提供できたことに大きな意味がある。考えてみると、景観は地域全体で守っていくものでありながら、その議論は大人だけで進められることがほとんどで、子どもたちが自分のこととして地域の景観を捉える機会は非常に少ない。今回の事例では、工事により

今見えている風景がどのように変わるのか、自然や生態系にどのような影響を与えそうか、住民の豊かな生活と景観保全の両方を実現するためにどこで折り合いをつけるのかなどについて子どもたちと共有し、一緒に考えることができた。また、工事の過程や景観の変化を自分たちの目で見て確認できるだけでなく、その一役を担ってもらうことで、より実感を伴った経験になると考えられる。このような事業を通して、子ども達の景観に対する意識を高め、多様な視点と柔軟な思考を育てることは、四万十の景観を後世に引き継ぐために非常に重要なことである。また、工事等の影響で地域に目新しい風景ができたとしても、そこに子ども達が親しみをもつことで、うまく地域に馴染んでいくという効果も期待できそうである。

■授業とどんぐりひろいの様子



小学生向けの道路工事で景観のお話。



発芽するどんぐりは水に浮く？沈む？



合間の時間でドッジボール。



どんぐりの種類と特徴について。



夢中でどんぐりを探す子ども達。



落ち葉の中で幼虫発見。ミミズもいたね。



どんぐりを水に浸けて選別します。



どんぐりをポットに植えます。



たっぷり水やり。

イベント情報



2016 奥四万十博クロージングイベント

8か月にわたり奥四万十地域全体で取り組んできた2016 奥四万十博がいよいよフィナーレを迎えます。クロージングイベントは四万十町で開催！12/16から12/25まではファイナルウィークイベントとして、四万十町を歩いて飲んで食べつくす「しまんとバル」を開催。クロージングイベントは、12/23に四万十町の旧庁舎跡地にて！幻想的なイルミネーションにも期待！ご家族、お友達連れで是非どうぞ。

2016 奥四万十博
クロージングイベント

【期間】 2016/12/16-12/25
【場所】 四万十町旧庁舎跡地
【お問い合わせ】
奥四万十博推進協議会
TEL 0889-59-5225
FAX 0889-59-5226
MAIL web@okushimanto.jp